



Science For A Better Life

日本のバイエル
企業広報誌
Corporate Newsletter
of Bayer in Japan

和

Harmony

>>>02

バイエル
イノベティブ
サッカー教室
Bayer Innovative
Soccer Class

>>>04

バイエルと
サッカーワールドカップ

>>>06

バイエル
マテリアルサイエンス
関西拠点統合



>>>08

女性の健康、
ワーク・ライフ・バランスを
考える



>>>13

Bayer Topics



「バイエル イノベーティブサッカー教室」

サッカーワールドカップの公式試合球

「Brazuca (ブラズーカ)」を使って

18名の小学生たちがフリースタイルフットボールに挑戦

“Bayer Innovative Soccer Class”

Kids Experience the Excitement of Freestyle Football with World Cup Official Match Ball “Brazuca”

サッカー製品など生活に身近な製品に素材を提供しているバイエルをより多くの方に知っていただくことを目的に「バイエル イノベーティブサッカー教室」を開催。ボールを頭に寄せたり、座ってリフティングしたり、音楽に合わせ踊ったり…。子どもたちが創造的なサッカーを体験した。

Bayer in Japan recently hosted the “Bayer Innovative Soccer Class” to showcase the company’s innovative materials used in many areas of daily life, including soccer equipment. The eighteen schoolchildren who participated got to experience an artistic form of soccer that incorporated moves such as balancing the ball on the head, juggling the ball while sitting, and even dancing to music.



この教室の講師は、フリースタイルフットボールで世界的に有名な「球舞(キューブ)」。世界各地でパフォーマンスを行っているフリースタイルフットボールの先駆者で、Newsweek誌で「世界が尊敬する日本人100」にも選出された。そして、スペシャルゲストとして元ドイツ代表サッカー選手で90年イタリアワールドカップ優勝メンバーのギド・ブッフバルト氏も参加した。

まずはマルコ氏をはじめとする球舞メンバーが妙技を子どもたちに披露し、その後、一人ひとりの子どもたちがフリースタイルフットボー

ルの技に挑戦した。また教室後半の60分では、球舞メンバーとJリーグ浦和レッズで監督を務めた経験もあるブッフバルト氏が、フリースタイルの技を取り入れたミニサッカーゲームで子ども達のチームと対戦。バイエル イノベーティブサッカー教室は大盛況で幕を閉じた。

The fun event featured a performance and lesson by world-class freestyle football team “Cube”, followed by mini-games that pitted the kids against former German national team member Mr. Guido Buchwald.

>>> その秘密は >>>>>>>>
次ページで紹介

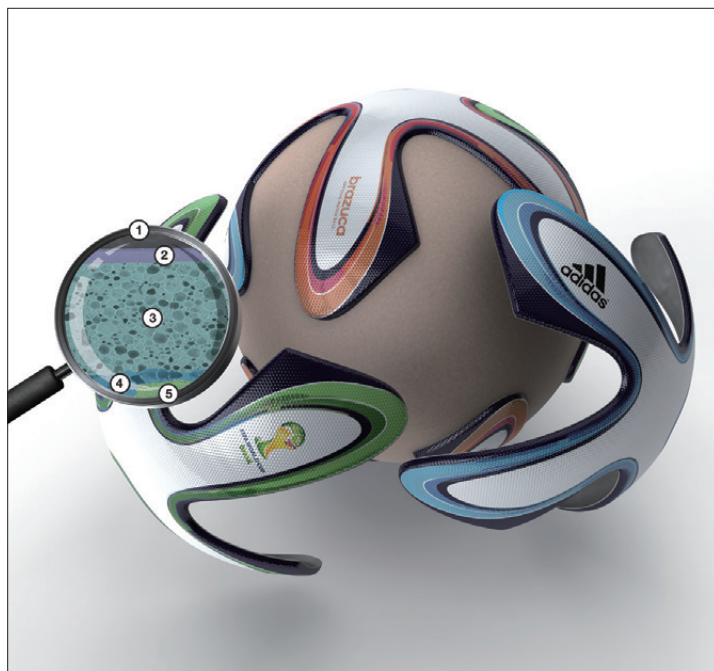
バイエルと サッカーワールドカップ

— バイエルが生み出す先進技術で一大イベントを支える —

Bayer Materials and Technologies Support Major Sporting Event

公式試合球「Brazuca(ブラズーカ)」に、 バイエルのポリウレタンが生み出す最適な特性が生かされる

Bayer polyurethanes help give optimal properties to the Brazuca - the official match ball of the 2014 World Cup.



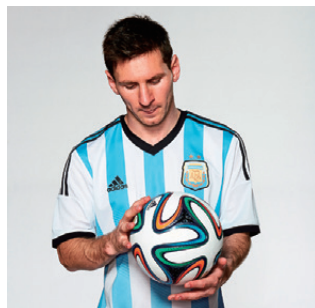
「ブラズーカ」の大きな特長は、これまでの公式球の中で最も少ない6枚の素材パネルで構成されている点。従来は12～32枚だったパネルをわずか6枚にしたことによって安定性や丸さが向上した。

この6枚のパネルは、バイエルの素材 Dispercoll® U (ディスパコール U) がベースになった加熱活性化接着剤を使用して結合されている。一定の圧力、気温条件下で、バイエルが特許を持っている熱接着技術を使用することにより、ボールの製造が効率化される。

ボールの表皮を形成する5層にはすべてバイエルのポリウレタン素材を採用。皮の一番内側の層は布の下地とその上の層とを接合する粘着コーティングである。このコーティングの上はポリウレタンフォーム層で、厚さ約1ミリ、何百万個ものガス入り微粒子でできている。この発泡ポリウレタンは大変柔軟で、キックして変形してもすぐに元の球形に戻り、ボールは最適な軌道で飛んでいく。残りの表皮は厚みの異なる圧縮された3層のポリウレタンで構成され、外からの圧力と摩擦に対し並外れた耐性があり、ボールの弾力性を高めている。

バイエルの技術が投入された「ブラズーカ」がピッチで本領を発揮するのは、正確なパスやシュートしたボールが美しい軌道を描いて飛ぶ瞬間である。

The Brazuca World Cup Ball is made from Bayer's polyurethane materials. It is these materials that give this ball – packed with know-how and expertise – its perfect shape and outstanding properties.



「ブラズーカ」には、アディダス社とバイエルマテリアルサイエンス社の30年近い協力関係によって培われたノウハウと専門知識が詰まっている。

「ブラズーカ」のテストには、アルゼンチン代表リオネル・メッシをはじめ、600人以上のプロサッカー選手と10カ国30以上のチームが参加。アディダス社の販売史上最多のテストをくり抜けたサッカーボールになった。

バイエルのポリウレタンが重要な役割を果たす「ブラズーカ」

長年にわたり、ハイク・サッカーボールの開発に携わってきたバイエルマテリアルサイエンス社、トーマス・ミヒャエリス氏は「私が路上で友達とサッカーをしていたころ、ボールは重い革製のものでした。雨に濡れると水を含んでとても重くなり、足のつま先を痛める危険性と常に隣り合わせでした」と、昔を振り返る。

トーマス・ミヒャエリス氏は続ける。「しかし、合成皮革素材のおかげでボールの吸水率が下がり、足先に負担をかける心配がなくなりました。今回、公式試合球に選ばれた『ブラズーカ』は、これまでのサッカーボールをさらに進化させたもの。最も優れた特性はポリウレタン素材を基本にしたボールの表皮にあり、感触が良い上、吸水防止にも役立ちました」。



バイエルマテリアルサイエンス社
サッカーボール開発
プロジェクトマネージャー
トーマス・ミヒャエリス



シューズからウェアまで！ バイエルのソリューションが選手を支援

From functional clothing to footwear, athletes benefit from Bayer solutions.



バイエルは、軽量で耐久性のあるスポーツシューズ用の素材とソリューションの開発に長年積極的に取り組んできた。アディダス社の「コパムンディアル」がその一例。発売から30年以上経った今も生産が続く伝説のシューズだ。



アディダスが発売するアンダーウェアTechfit™ Powerweb™(テックフィット パワーウェブ)には加圧機能があり、第二の皮膚のように感じられる。その秘密が、バイエルのImpranil®(インプラニール)を用いた特殊コーティングの伸縮素材バンドだ。このバンドが選手の姿勢を矯正し早期疲労を防ぐ。

Bayer innovative materials also help ensure the comfort and high functionality of the outfit that players wear.

選手だけでなく、サッカーファンにもバイエルの技術で、安全、快適を提供

Bayer technologies support the comfort and safety of both the athletes and the soccer fans.



ブラジルの首都ブラジリアにあるスタジアム「エスタジオ・ナシオナル」。ワールドカップのために改修工事を行い、約7万人の観客を収容できる競技場に生まれ変わった。このスタジアムの魅力は、円形の会場を包むようなドーナツ状の屋根。その屋根に使われているシートが、バイエル マテリアルサイエンス社のMakrolon®(マクロロン)合成樹脂だ。

マクロロンシートは、両面に紫外線防止加工がしてあり、何年もの間、風雨にさらされても劣化しない。また軽量で衝撃にも強く割れにくいといった特長があり、7万人の観客を雨と日差しから守る。

Bayer is offering intelligent solutions for the World Cup stadiums in Brazil, such as Makrolon polycarbonate sheet roofing.

バイエル マテリアルサイエンスの 関西拠点を統合

Bayer MaterialScience consolidates its facilities in Kansai area

人々の「Better Life」に貢献するイノベーションをより迅速に提供

Speedily offering innovation, contributing towards a "Better Life"

今年5月、関西のバイエル マテリアルサイエンスの拠点を、兵庫県尼崎市のイノベーション・センターに統合。営業、管理部門を含む関西の全部門を尼崎に集約し、住化バイエルウレタン株式会社の本社機能も同地に移転した。統合を記念して5月27日には記念式典が行われた。

In May this year, Bayer MaterialScience consolidated its offices in Kansai into the Innovation Center in Amagasaki, Hyogo prefecture. With all divisions in Kansai now concentrated in Amagasaki, Sumika Bayer Urethane Co., Ltd. has also transferred its head office to the same location. From the renewed location, Bayer MaterialScience will further step up to provide innovative solutions to its customers.



2009年に拡張オープンしたイノベーション・センターは、日本での開発業務の中核として機能。革新的な応用開発で、アジア大洋州地域においても重要な開発拠点となっている

社内の連携を緊密にして 迅速な顧客対応に臨む

今回の統合では技術開発部門に加え、マネジメント、営業、間接部門など全部門を尼崎に集約し、住化バイエルウレタン本社も移転。これにともないITインフラの強化、ショールームのリニューアル、また応用開発をより効率的に行うための新しい設備も導入した。屋上のバイエルロゴも一新している。統合記念式典には、アジア大洋州イノベーション統括責任者クリスチャン・ヘスラー氏をはじめ、関連会社から来賓がお祝いに駆けつけた。

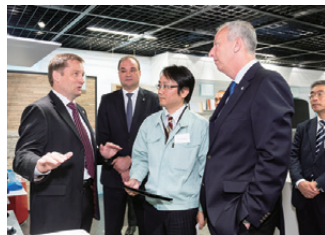
関西拠点の統合で目指すものは「迅速な顧客対応とイノベーションの創出」。イノベーション・センターに全機能を集約することによって社内の連携を緊密にし、顧客が直面する課題に対応する製品やソリューションをより迅速に提供する。また、住化バイエルウレタン新居浜工場の18年にわたる無災害記録の実績をもとに、グループ丸となって今後も安全操業に注力する。

5月27日 関西拠点統合記念式典を開催

日本バイエル代表ハンスディーター・ハウスナー氏、パートナー企業やたくさんのバイエルグループ社員が出席した。



ゲストの皆さんによって記念に桜の木を植樹



ショールーム & テクニカルラボツアー。イノベーション・センター長 生田広志氏の案内で、バイエル マテリアルサイエンス最先端の取り組みが紹介された



午後は記者を招いてメディアラウンドテーブルを開催。記者の皆さんから熱心な質問が寄せられた



常設のショールームも移転に合わせてリニューアル。「スポーツ」「軽量化」「建築」「Better Life」という4つのテーマによる展示が行われ、バイエルのイノベティブな製品をわかりやすく紹介している



「建築」ゾーンのコセプトは「省エネルギー」。温室外装材のポリカーボネート製マルチウォールシートや住宅用断熱材に使われている水発泡ポリウレタンフォームなど、省エネ社会に向けて今後ますます注目を集めることが見込まれる断熱材を紹介



「Better Life」のゾーンでは、新分野としてポリウレタンが化粧品素材として用いられ、発色の良さ、伸びの良さが特長であることを説明。また、スマートフォン用のカバーは、熱可塑性ポリウレタンDesmopan®(デスマパン)で柔らかな感触を実現している。ポリウレタンの発泡の様子を撮影したビデオなどをタブレットや大型モニターに映しながら、一連の展示物をわかりやすく説明

自動車部品の「軽量化」をテーマにしたゾーン。ポリカーボネート樹脂を使ったルーフやポリウレタンコンポジットのスペアタイヤカバーを展示。自動車の窓ガラスやガラスルーフをポリカーボネート製に替えることによって軽量化が実現



「スポーツ」ゾーンで目を引く、カラフルなサッカーボール「Brazuca(ブラズーカ)」はワールドカップ・ブラジル大会の公式試合球。アディダス製のこのボールにはバイエルの合成樹脂が使用されている。ほかにも、バイエルの素材を使用したアスリート用アンダーウェアやサッカーシューズ、ゴルフボールを展示



イノベーション・センター周辺情報



①中華料理 龍園

「下坂部商店街」内にある中華料理屋さん。何を食べても美味しいが、とくに肉飯が絶品。リーズナブルな料金も魅力

②タコ公園

ピンク色のタコの滑り台が中央に。子どもたちがボール遊びに興じるのどかな公園

③潮小学校

ダウンタウンの浜ちゃんと松ちゃんの母校で、2人の出合いの場であり原点ともいえる場所

④山里食肉店

ご主人がダウンタウンと同級生のお持ち帰り専門ホルモン屋さん。沖縄の物産なども販売

⑤あまがさきキューズモール

JR 尼崎駅と2階フロアがデッキで直結。店舗面積は約57,800平方メートルのショッピングセンター



女性の健康、そしてワーク・ライフ・バランス、考えていますか？

～月経の知識不足がもたらす、職場への影響と労働損失～

Do you ever consider women's health and the work-life balance?

～The effect on the workplace and the loss of labor caused by ignorance about menstruation～

女性の働きやすさと健康について考えてもらうため、バイエル薬品の女性社員を中心とする

「ウイメンズ・ヘルスプロジェクト」が発足している。今年の3月、その活動が早くも外部機関に評価され、

「女性の健康とワーク・ライフ・バランスアワード推進賞」を受賞。プロジェクトの内容について、メンバーに聞いた。

A female employee at Bayer Yakuhin launched the Women's Health Project, to get people to think about women's work and health. We asked about the project, which has won an award for the promotion of women's health and work-life balance.

きっかけは「2万人の月経随伴症状の負担に関する研究結果」

「月経随伴症状による心身の不調を感じているにもかかわらず、多くの女性が婦人科にかかっていない」。2011年、バイエル



小林久里
ウイメンズヘルス & エスタブリッシュトプロダクツ事業部

薬品が約2万人の日本人女性に対して行った研究^{※1}で明らかになった結果だ。これを見たとき、プロジェクトの発起人である小林氏は「女性自身が月経（生理）に関する正しい知識を十分に持っていない」という現状は、過去の厚生科学研究報告（平成12年度）^{※2}と変わっていないことに問題意識を抱いたという。

生理痛がひどくて起きていられないなどの日常生活に支障をきたすものを「月経困難症」という。月経困難症には治療法があり、婦人科にかかれば改善の可能性があるにもかかわらず、そのことがあまり知られていないことに加え、婦人科受診への抵抗感もあることから受診率は依然低い。2011年の研究では月経随伴症状による社会全体の経済的負担額は約7,000億円に上ると推定され、無視できない問題と指摘されている。「もしかしたら、当社も同じような状況にあるのではないかな。もしそうなら、一般女性に呼びかける前に、婦人科領域の製品を扱う企業にいる私たちがまず月経の正しい理解を深めなければならない。そう思ったのがプロジェクト発足のきっかけです」と小林氏は語る。

「やっぱり…」社内でも月経に対する現状は同じ

小林氏は、企画書を持って自ら各部門を回り、プロジェクトの必要性を力説。その努力が実り、2013年、ウイメンズヘルス & エスタブリッシュトプロダクツ事業部を中心に、広報や事業統括、人事、マーケットアクセスなど部門の枠を超えた「ウイメンズ・ヘルスプロジェクト」が立ち上がった。



西村雅子
事業統括本部

小林氏はさっそく、月経随伴症状に関する社内の実態をつかむために、西村氏らとともに社員アンケートの実施に着手。月経にまつわる項目のほか、社員の意識に関する設問も盛り込み、男女社員（管理職を含む）2,631人を対象にアンケートを

行った。

アンケートを分析したところ、予想通りの結果が出た。約2万人の研究結果^{※1}とほぼ同様の傾向が見られたのだ（右頁参照）。「社員に月経の知識を身につけてもらうことが重要」。そう痛感したメンバーは、月経に関する啓発講座を企画し、社内に向けた情報発信から取り組むことにした。「日本の職場は、生理痛をデリケートな話題として触れない傾向にありますが、正しい知識を身につければ、そうした問題も解決できます」と小林氏と同事業部の松原氏。知ること、職場環境は大きく変わっていくと話す。



松原 爽
ウイメンズヘルス & エスタブリッシュトプロダクツ事業部

女性の力をもっと生かしたい。病気のサインを見逃したくない

社員アンケートでは、月経随伴症状が女性の仕事にマイナスの影響を及ぼしている実態も明らかになった。「女性社員の約60%が、月経によって仕事に支障が出ていると感じており『仕事に集中できない』『やる気が起きない』といった回答も多くみられた。こうした労働意欲の低下がもたらす経済損失は、バイエル薬品だけで年間およそ5,000万円にも及ぶと推計されます」と西村氏。小林氏も「月経のつらさを取り除くことは、部門やチームのパフォーマンスを上げるという意味でも大事です」と話す。

働きやすさのために、男性の理解が不可欠

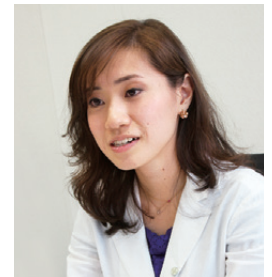
もう一つ、メンバーが口をそろえて発するのが「男性にもぜひ女性の健康管理の重要性について正しく理解してほしい」というメッセージ。社員アンケートでは、男性は「月経随伴症状に苦しむ女性のために、働きやすい環境が整っている」と感じているのに対し、女性は「あまり整っていない」と感じている割合が高かった。「バイエル薬品は女性の健康に関連した制度は整備されていますが、制度の周知やそのような話し合いができる環境が整っていないのではないか」と小林氏。

一方でアンケートでは、男性社員から「自分たちにも月経に関する教育をしてほしい」という回答も寄せられた。生理痛に苦しむ女性にどう対処していいかわからない、という男性の姿が浮き彫りになったと、西村氏は分析している。「男性にも月経を理解

さらに、生理痛を「いつものことだから」と放置することは、重大な疾患を見落とすことにもつながる。月経随伴症状の裏側には、子宮内膜症、子宮筋腫などの病気が隠れている場合があるからだ。「つらい症状に悩む女性社員には、とにかく迷わず婦人科に行ってほしい。社員として本来の実力が発揮できるようにということだけでなく、一人の女性として大切」と小林氏も松原氏も強調する。

してもらうことは、女性の働きやすさに大きく貢献します。組織としても、女性を部下に持つ管理職の方々にとっても、メリットのあることではないでしょうか」。

今回のきっかけになった約2万人の研究^{※1}を担当した田中氏も「研究結果では月経随伴症状が女性にもたらす心身の負担、社会全体に与える経済的負担、および婦人科受診による女性へのベネフィットを明確にしています。婦人科受診の重要性を知るきっかけになれば」と話す。



田中恵理香
マーケットアクセス本部

女性が100%のパワーを出せるように

プロジェクトでは、2013年の夏から秋にかけて、社員に対する月経関連疾患の啓発講座「女性の健康講座」を3回実施しており、この7月には東京での講座も開催。企画の一部を担当する渡邊氏は「女性、男性を問わず、月経のことについて自然に語り合える場にしたい」と意気込む。

女性が月経による苦しみから解放され、職場で100%の力を出し切れるように…。そんな願いを込め、プロジェクトのメンバーたちは、自分の職務内容を生かしつつ協力し合っている。プロジェクトを始めて以来、社員からの月経に関する問い合わせが

増加していて、徐々に社内の意識が変わってきていることに手応えも感じる。

「これまでは本社のある関西を中心に講座を展開していましたが、次なる目標は全国展開。管理職に対する啓発も実施していきます」。そう話すメンバーたちの表情は晴れやかだ。



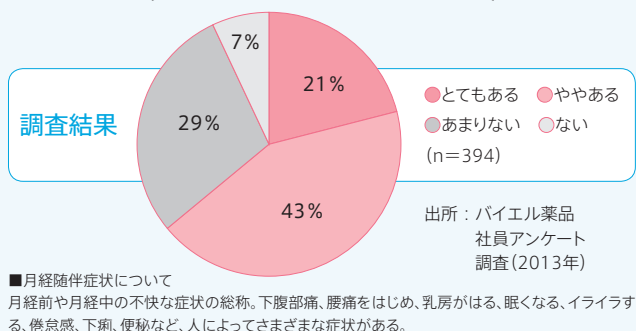
渡邊悠子
ウィメンズヘルス&エスタブ
リッシュトプロダクツ事業部

Having found out from an outcomes study of 20,000 women that the percentage of women who seek medical help for menstrual symptoms is low, Ms. Kuri Kobayashi, Women's Health Marketing set up a cross-functional project team, believing that we, as a pharmaceutical company, would want to increase our understanding of menstruation. The

team conducted a questionnaire of 2,631 people within the company, to gain an understanding of common problems, as well as to calculate economic losses. The team is currently conducting various activities, with a view to properly informing both men and women and getting women to see a gynecologist about any problems.

column

月経随伴症状(身体症状と精神症状の両方を含む)



一般女性約2万人を対象とし月経随伴症状に起因する心身的および経済的負担について調査した研究と、バイエル社員に行ったアンケートを見比べると、ほぼ同じ結果が出ている。

約2万人の研究では、月経随伴症状に悩む女性は全体の74%、そのうち通院経験のある女性は20.4%にとどまっている。^{※1} 社員アンケートでも、月経随伴症状に悩む女性は64%、そのうち婦人科を受診している人は24%という結果が出た。受診するほど重い症状とは思わない、時間的な余裕がないという理由が、婦人科から足を遠ざけている原因となっている。

※2:平成12年度研究報告書(子家庭総合研究事業)「リプロダクティブ・ヘルス(性と生殖に関する健康)からみた子宮内膜症等の予防、診断、治療に関する研究」主任研究者 武谷雄二

「ウイメンズ・ヘルスプロジェクト」メンバーコメント

西村氏: プロジェクトによって社内の意識がどう変化したか、数年後にもう一度社員アンケートをやってみたいですね。どんな結果が出るか楽しみです。



渡邊氏: 今後は全国に広がるバイエル薬品の支店ベースで健康講座を実施したいです。そうすれば、日ごろ営業活動で忙しいMR（医薬情報担当者）も参加できそうです。



松原氏: 男性社員や管理職の方々にも、月経のことをもっと知ってほしいと思っています。社員啓発の良さは、その家族にも波及効果があること。「うちの子にも婦人科の受診をすすめてみようかな」と思ってもらえるなど、広がりが生まれています。



小林氏: 月経は妊娠・出産とも大きくかわっています。女性のライフプランニングやワーク・ライフ・バランスのためにも、生理痛を放っておいてはダメ。自分自身やパートナーのために正しい知識を持ち、気軽に婦人科を受診してほしいですね。

田中氏: 女性が安心して婦人科にかかったり生理休暇をとるためには、男性を含む周りの方の理解も必要。女性のライフステージについて話し合えるカジュアルな場ができるといい、と思っています。



楯尾氏（人事本部）: プロジェクトの継続によって、少子化の原因が女性の社会進出であるとの偏見払拭につながることを期待しています。



ウイメンズ・ヘルスプロジェクトが「女性の健康とワーク・ライフ・バランスアワード推進賞」を受賞！

Women's Health Project wins award for the promotion of women's health and work-life balance!

■ プロジェクト1年目にして、外部機関から表彰

2013年からスタートしたウイメンズ・ヘルスプロジェクト。活動を始めて1年余りだが、月経と女性の働きやすさに目を向けた活動が評価され、2014年3月8日、NPO女性の健康とメノポーズ協会が主催する「女性の健康とワーク・ライフ・バランスアワード推進賞」を受賞した。

受賞が決まったとき、プロジェクトのメンバーだけでなく、管理職からも喜びの声が上がった。「社内の取り組みが外部から評価されて誇らしかったですし、これからの活動を『がんばって』と応援されているようですごく励まされました」と小林氏はうれしそうに語る。

■ メンバーの半数が「女性の健康推進員」

今回の受賞のポイントは、社員アンケートを実施して社内の実態を把握し、女性の健康講座につなげたこと、メンバー自身が「女性の健康検定」に合格し「女性の健康推進員」と

して活躍していることなどだ。

渡邊氏は、プロジェクトのメンバーになる前から「女性の健康とワーク・ライフ・バランス推進員」資格を取得し、仕事に生かしてきた一人。「女性の一生を通じて、体やホルモンバランスがどう変化するかを総合的に学べるので、自分の培ってきた循環器領域などの知識をうまく棚卸しできました」と話す。

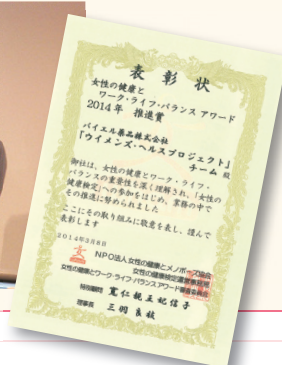
The project was presented with the award by an independent outside agency in its first year. The management was also pleased about the award decision. Members looked thrilled, saying the award was really encouraging.

「女性の健康とワーク・ライフ・バランスアワード推進賞」とは？

女性の健康づくりとワーク・ライフ・バランスの啓発や向上に大きく貢献した企業や団体が表彰される。奨励賞、推進賞などがあり、今年はバイエル薬品のほか、ライオン生活者行動研究所、ポーラ・オルビスグループ健康保険組合などが受賞している。

「女性の健康推進員」って？

NPO女性の健康とメノポーズ協会による民間資格。女性の健康や体の変化に関する知識を問う「女性の健康検定」の合格者に与えられる。キャリアアップを図る女性はもちろん、人事部門や管理職の男性も取得を目指す傾向にあるとか。さらに上級資格の「女性の健康とワーク・ライフ・バランス推進員」もある。



プロジェクトを支えるメンバーたち、普段の業務内容は？

Members give their support to the project



◎ウィメンズヘルス & エスタブリッシュトプロダクツ事業部: 小林久里、松原 爽

Kuri Kobayashi, Sayaka Matsubara : Business Unit Women's Health & Established Brands

女性の健康をサポートする製品を通じて、女性の生き方や働き方の質向上に貢献するのが役割。特に婦人科疾患に関する知識の啓発に力を注ぎ、一般はもちろん、医師や医療従事者にも適切な情報提供をしている。「現在は『性差医療』という言葉も認知されつつあり、女性特有の身体変化に合わせた薬の開発が進んでいます。そういったことも啓発していきたい」。「重い生理痛は月経困難症といい、治療対象となる疾患です。妊娠したときだけでなく、体の不調を感じたら行く“かかりつけの婦人科医”を持つよう呼びかけたい」。

◎ウィメンズヘルス & エスタブリッシュトプロダクツ事業部: 渡邊悠子

Yuko Watanabe : Business Unit Women's Health & Established Brands

Webを活用して医療用医薬品に関する情報を医療関係者向けに提供するほか、さまざまなチャネルを通じた一般向けの疾患啓発活動を担当。このほど、コンテンツの一つ「“私のお気に入り”フォトコンテスト2013」の入賞作品展示イベントを東京で開催するのに合わせ、バイエル社員向けの月経関連疾患の啓発講座も併催。「職場によって月経の理解度に差があるのが現状。これを少しでも解消していきたい」。



◎事業統括本部: 西村雅子

Masako Nishimura : Commercial Excellence Management

社内各部門からのニーズに応じて、さまざまな市場調査を企画・実施。2011年実施の「日本人女性における月経随伴症状による負担に関する研究」の文献発表を機に、社内の実態をつかむため社員アンケートを設計し実施。月経についての知識や治療が女性に行きわたっていない実態をつかむ。「アンケート調査が、月経について考えるきっかけになってくれるとうれしいですね」。

◎マーケットアクセス本部: 田中恵理香

Erika Tanaka : Market Access

他部門で活用できる患者さんの未だ満たされない医療ニーズ、治療の結果などに関するエビデンス（論文など）の構築や、そのための研究を企画・実施している。2011年の「日本人女性における月経随伴症状による心身の・経済的負担に関する研究」では、担当者・第一著者として他部署と連携して研究を進め、研究結果を医療経済学専門雑誌『Journal of Medical Economics』および『International Journal of Women's Health』に発表した。「女性のQOL（生活の質）の向上を目指して、エビデンスの面からサポートしたい」。

◎人事本部: 楯尾英之

Hideyuki Tateo : Human Resources

ビジネスの状況をふまえ、組織設計、人材開発、業績評価、採用・異動、そのほか人事に関することについて専門的な観点から助言やサポートを行う。「女性に対する啓発活動だけではなく、男性の意識改革をも通じて、すべての社員にとって働きやすい職場環境をつくっていききたい。それは社員のワーク・ライフ・バランスにつながり、会社の生産性向上にもなると考えます」。

column

7月25・26日 | 丸の内OAZOで「私のお気に入り」アートガーデンを開催



2013「グランプリ作品」



会場イメージ

バイエル薬品は、7月25、26の両日、一般の投稿写真からグランプリを選ぶ「“私のお気に入り”フォトコンテスト2013」の入賞作品展示イベントを開催。月経に関するパネル展示もブース内で行った。初日には、社員向けの「女性の健康講座」を開講し、婦人科医から月経や婦人科疾患についてわかりやすくレクチャーした。

「“私のお気に入り”フォトコンテスト」サイト <https://p.femalelife.jp/>

3月 March

Mar.

Bayer MaterialScience

バイエルの塩素生産技術が
「ドイツ産業イノベーション賞」のファイナリストに
Bayer chlorine production technology nominated as
finalist in German Industry Innovation Awards

Mar. 9

Bayer HealthCare

「第6回バイエル・レシピコンテスト」受賞作品決定
Announcement of winners of the "6th Bayer Recipe Contest"

Mar. 31

Bayer HealthCare

バイエル薬品「私のお気に入り」フォトコンテスト2013
入賞作品を発表
Announcement of winners of "My favorite Photo Contest"

4月 April

Apr.

Bayer MaterialScience

バイエルの素材を使った未来型ソーラー飛行機
「ソーラー・インパルス」の2代目がスイスで初披露
2015年に世界一周飛行予定
Bayer materials used in futuristic solar-powered plane
second generation Solar Impulse unveiled in Switzerland
Scheduled to fly round the world in 2015

Apr. 7

Bayer in Japan

2013年度(1月~12月)売上高
日本のバイエル、「成長戦略」にそって売上を大幅に拡大
Sales for FY2013 (Jan.-Dec.)
Bayer in Japan achieves dynamic increase
in sales under its Growth Strategy

Pick Up
01

Apr. 7

Bayer HealthCare

2013年、バイエル薬品は売上高二桁増を達成
Bayer Yakuin achieves double-digit sales growth in 2013

Pick Up
02

Apr. 17

Bayer HealthCare

バイエル薬品、スキルアップジャパン、ズノーと共同で、
アプリ「健康知ってクイズ」をリリース
Free app "Health Learning Quiz" for iPhone and iPad is released

Apr. 18

Bayer HealthCare

バイエル薬品「アデンプス錠」を発売
Bayer Yakuin launches Adempas tablets

Pick Up
03

5月 May

May 1

Bayer MaterialScience

バイエル マテリアルサイエンス、関西の拠点を尼崎に統合
Bayer MaterialScience integrates its Kansai offices into Amagasaki

Feature
p.06-07

May 6

Bayer International

バイエル、米国メルク社のコンシューマーケア事業を取得
sGCモジュレーター領域で戦略的業務提携へ
Bayer acquires consumer care business from Merck (USA).
Working towards a strategic alliance in the sGC modulator sector

Pick Up
04

May 20

Bayer HealthCare

バイエル薬品、中学生向けがん教育「生きるの教室」を
福島にて開催
Pharma School workshop is held in Fukushima

May 29

Bayer MaterialScience

住化バイエルウレタン株式会社新居浜工場が
「レスポンシブル・ケア優秀賞」を受賞
Sumika Bayer Urethane Niihama Plant wins Responsible Care Award

Pick Up
05

6月 Jun

Jun. 20

Bayer HealthCare

バイエル薬品、抗悪性腫瘍剤「ネクサバル®錠」の
「根治切除不能な分化型甲状腺癌」に対する適応追加承認を取得
Bayer Yakuin gains approval of additional indication for the treatment
of unresectable differentiated thyroid carcinoma for Nexavar

7月 July

Jul. 3

Bayer in Japan

「バイエル イノベティブサッカー教室」を開催
18名の小学生たちがフリースタイルフットボールに挑戦
Eighteen schoolchildren take on freestyle football at the "Bayer
Innovative Soccer Class"

Feature
p.02-03

Jul. 9

Bayer CropScience

バイエル クロップサイエンス、ナショナル カンファレンスを韓国で開催
Bayer CropScience K.K. holds National Conference in South Korea

Jul. 25-26

Bayer HealthCare

丸の内OAZOで「私のお気に入り」アートガーデンを開催
"My favorite Art Garden" is held at Marunouchi OAZO

PEOPLE

・バイエル薬品株式会社
(2014年4月30日)
取締役会長 退任
栄木 憲和

・バイエル ホールディング株式会社
(2014年5月1日)
日本バイエル財務最高責任者
バイエル ホールディング株式会社
代表取締役専務 就任
フランク・ビルグラム

日本バイエル財務最高責任者
バイエル ホールディング株式会社
代表取締役専務 退任
ハンス・クレメンス

・ディーアイシー バイエル ポリマー株式会社
(2014年5月1日)
代表取締役社長 就任 代表取締役社長 退任
堺 達郎 田邊 幸将
代表取締役副社長 就任 代表取締役副社長 退任
中西 淳一 堺 達郎

2013年度(1月~12月)売上高

日本のバイエル、「成長戦略」にそって売上を大幅に拡大

4月7日、日本のバイエルは2013年度(1~12月)の業績を発表。グループ売上高が2,688億600万円(前年比14.4%増)と大幅に拡大した。「日本のバイエルの『成長戦略』を2011年より着実に実行してきたことが、この素晴らしい結果につながりました」と日本バイエル代表のハンスディーター・ハウスナー氏は述べている。

⇒2013年度の各事業グループのおもなトピックス

○ヘルスケア事業グループ

売上高は1,959億9,000万円、前年比15.7%増。2013年5月に2週間の投薬期間制限が解除された経口抗凝固剤「イグザレルト錠」や眼科用VEGF阻害剤「アイリーア硝子体内注射液」が本格的に売上に貢献したほか、同年5月に発売した抗悪性腫瘍剤「スチバール錠」も順調に推移した。

○農業関連事業グループ

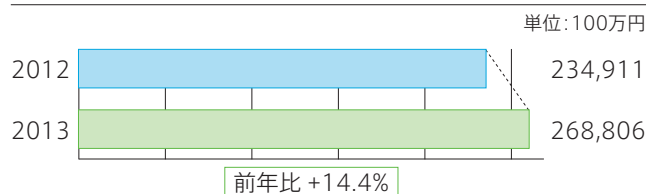
売上高は327億300万円、前年比1.9%増を達成。農業部門では、水稲・野菜用の殺虫剤などの4製品、エンバイロサイエンス部門からは、植物成長調整剤、芝用除草剤をそれぞれ発売。今後も農業従事者の方々の「Better Life」および農業全体への貢献を目指す。

Bayer announced its results in Japan for fiscal 2013. Group sales totaled ¥268,806 million (up 14.4%), thanks to substantial increases from the HealthCare group (up 15.7% year on year to ¥195,990 million), the

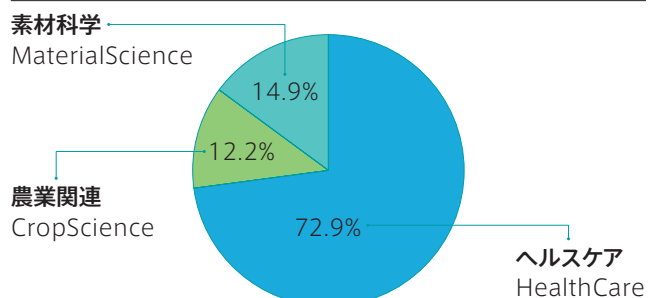
○素材科学事業グループ

売上高は401億1,300万円、前年比20.1%増を記録した。断熱材の需要増と、新たに開始した素原料ビジネスにより、大幅な売上増を達成。新規事業については、ロボティクス分野や化粧品用ポリウレタンのマーケティング活動を積極的に展開。

日本のバイエル売上高



事業グループ別売上構成



CropScience group (up 1.9% to ¥32,703 million) and the MaterialScience group (up 20.1% to ¥40,113 million).

New Products

Apr. 15

バイエル クロップサイエンス株式会社
芝用殺菌剤
「インターフェース®フロアブル」

「インターフェース フロアブル」は、作用性の異なる2つの有効成分(イブロジオン、トリフロキシストロピン)を組み合わせることで、西洋芝のダラスポット病に高い予防・治療効果を示す。



Jun. 5

バイエル クロップサイエンス株式会社
新規殺虫殺菌剤
「エバーゴル®ワイド箱粒剤」

「エバーゴル ワイド箱粒剤」は、アルキルアミド系殺菌剤ペンフルフェンを配合する水稲育苗専用の殺虫殺菌剤。優れた防除効果と浸透性、移行性を持ち、長い残効性を有する。



May 20

バイエル薬品株式会社
鶏・飲水添加用フロルフェニコール製剤
「セルバー®10%液」

「セルバー 10%液」は、バイエル社が開発した鶏・飲水添加用フロルフェニコール製剤。大腸菌に対し優れた感受性を有し、従来の1次選択抗菌薬で効果不足であった鶏大腸菌症に優れた効果を発揮する。



Jul. 10

日本メドラッド株式会社
マルチモダリティ対応X線線量管理システム
「Radimetrics™(ラディメトリックス)」

「ラディメトリックス」は、CT装置、血管撮影装置、透視装置などから発生する画像データを受信し、検査で照射されたX線線量に関する情報の保存、実効線量などの計算、Webブラウザによる線量情報参照および他システムへの線量情報の転送などを可能としたシステム。各検査における照射線量の標準化に貢献することが期待されている。

Pick Up
02

Bayer HealthCare

バイエル薬品株式会社

患者さんのニーズを満たす革新的製品への継続的な注力により 2013年、バイエル薬品は売上高二桁増を達成

バイエル薬品は、4月7日、8日に社長記者会見を開催し、2013年の売上高が、前年比16.5%※増の2,215億円※（以下・薬価ベース）を達成したと発表した。2012年発売の「イグザレルト®錠」と「アイリーア®硝子体内注射液」が売上に貢献したことや、成長製品の着実な持続によるものであり、売上高の目標としていた2,000億円を上回る大幅な成長となった。

2012年発売の2つの新製品のうち、経口抗凝固剤「イグザレルト®錠」は2013年5月に投薬期間制限が解除され、売上高186億7,100万円※に伸長。また、眼科用VEGF阻害剤「アイリーア®硝子体内注射液」も発売以降、急速な市場浸透の結果、売上高は173億1,900万円※に増加した。

バイエル薬品の代表取締役社長カーステン・ブルン氏は「医療用医薬品市場における売上上位20社の中で最も高い成長率を達成することができた。今後も有望な開発パイプラインの進展や将来のイノベーションへの投資を通じて、日本の患者さんとそのご家族のクオリティ・オブ・ライフの向上に引き続き寄与します」と述べた。

Bayer Yakuin has increased sales to ¥221.5 billion in 2013, up 16.5% year on year. This growth, which far surpassed the original goal of ¥200 billion, was driven largely by new products and growth assets.



業績発表を行うバイエル薬品 カーステン・ブルン社長

※Source: ©2014 IMS Health, Based on JPM 2013 Dec. MAT Reprinted with permission

Pick Up
03

Bayer HealthCare

バイエル薬品株式会社

バイエル薬品 新しいクラスの経口肺高血圧症治療薬「アデンプス®錠」を発売

バイエル薬品は、進行性かつ生命を脅かす心肺疾患、慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）の治療薬「アデンプス錠」の販売を開始した。CTEPHは難病指定されている疾患。本剤は日本において、CTEPHに関して、2011年9月8日に厚生労働省より希少疾病用医薬品の指定を受けている。

現在、CTEPHに対して根治が期待できる治療は、肺動脈血栓内膜摘除術（PEA）という複雑な外科手術だが、手術を受けることができない

患者さんや術後に肺高血圧症の残存、あるいは再発が見られる患者さんにとって、これまで承認された治療薬はなかった。そのため患者さんにとって「アデンプス錠」は、世界で初めて有効性・安全性が確認された治療薬となる。

Bayer Yakuin has launched Adempas, the first drug in the world approved as a safe and effective treatment for cardiopulmonary disease and chronic thromboembolic pulmonary hypertension (CTEPH).



経口肺高血圧症治療薬「アデンプス錠」

Pick Up
04

Bayer International

バイエルグループ

バイエル、米国メルク社のコンシューマーケア事業を取得 sGCモジュレーター領域で戦略的業務提携へ

バイエルグループは、メルク・アンド・カンパニー社（本社：米国ニュージャージー州、以下：米国メルク社）のコンシューマーケア事業を、142億USD（104億ユーロ）で取得することに合意した。ドイツ・バイエル社社長のマライン・デッカーズ氏は「今回の事業取得は、バイエルが魅力的な一般用医薬品事業におけるグローバルリーダーを目指す過程において、非常に重要な一歩となります。同時に、心血管疾患

領域における当社の能力を強化することができます」と述べている。

関連契約として、バイエルと米国メルク社は、可溶性グアニル酸シクラーゼ（sGC）モジュレーターを中心とする心血管疾患領域での戦略的提携を進めることに合意した。心血管疾患は最も重要な治療領域の一つであり、これまで一定の成果はあるものの、例えば肺高血圧症や心不全など、今もお高いメディカル

ニーズがある。デッカーズ氏は「この提携を通じて、バイエルはより多くの患者さんに新薬を届ける機会を増やせると考えています。これはバイエルのミッション『Science For A Better Life』に合致するものです」とも述べている。

The Bayer Group has agreed to acquire the consumer care business from Merck in the US. The two companies have agreed to proceed with a strategic partnership in the cardiovascular sector, focusing particularly on sGC modulators.

住化バイエルウレタン株式会社 新居浜工場が「レスポンシブル・ケア優秀賞」を受賞

5月29日、住化バイエルウレタン株式会社の
新居浜工場が日本化学工業協会から「レスポ
ンシブル・ケア優秀賞」を受賞し、表彰式が行
われた。住友化学株式会社とバイエル マテリ
アルサイエンスの合併会社である住化バイエ
ルウレタンは、両親会社から欧米と日本の双方
の長所を取り入れた保安防災・労働安全活動
管理手法を確立。その功績が認められ、このた
びの受賞となった。

また、新居浜工場はバイエルグループグロー
バル全体の中でも卓越した安全記録を継続。

今年の6月で18年間の無災害記録を達成し
た。バイエルグループは25年以上前から「レス
ポンシブル・ケア」に参加している。

The Niihama Plant at Sumika Bayer Urethane
Co. Ltd. was presented with a Responsible Care
Award at a ceremony organized by the Japan
Chemical Industry Association (JCIA). The plant
continues to maintain its outstanding safety
record.



表彰状を受け取る新居浜工場長 河田格氏(写真左)

Bayer in Japan

『和 Harmony』のデザインを刷新

今後さまざまな情報を、見やすく、わかりやすく、そして正確にお伝えしていきます

いつも『和 Harmony』をお読みいただき、
ありがとうございます。『和 Harmony』は、日
本のバイエルの企業広報誌として年3回発行
されています。日本のバイエル従業員はもちろん、
ビジネスパートナーや一般のお客さま、メ
ディア関係者にも、バイエルの製品、サービス
や活動、主なトピックを紹介する冊子です。また、
『Harmony』オンライン版も、日本のバイエルの
ホームページに掲載しています。

▶▶▶<http://www.bayer.jp/harmony/>

そんな『和 Harmony』ですが、今号からデ
ザインの刷新にお気づきになられましたか？
バイエルのミッションステートメント「Science
For A Better Life」を背景に、Innovation
(技術革新)とSustainability(持続可能性
への取り組み)を訴求し、展開しました。そし
て、日本のバイエルグループ全体の一体感、
求心力をさらに高めるきっかけづくりを『和
Harmony』が担っていければと思います。今
後も、さまざまな情報を、見やすく、わかりやす
く、そして正確にお伝えしていくつもりです。こ
れからの『和 Harmony』にご期待ください。



Starting with this issue, "Harmony" has been
upgraded with a new design to enable it
to even more effectively showcase Bayer's
innovation and sustainability under our mission
statement "Science For A Better Life."

PRESENT

「ミカタくんオリジナルグッズ」をセットで3名様にプレゼント！

正解者の中から、「ミカタくんオリジナルグッズ」のセットを3名様にプレ
ゼントします。クイズの答えと共に、会社名、住所、氏名、電話番号、『和・
Harmony』の感想を明記の上、ハガキまたはFAXでご応募ください。

(締め切り9月30日)

当選発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

宛先

〒100-8268 東京都千代田区丸の内1-6-5
バイエル ホールディング株式会社
広報本部「和・Harmonyプレゼント係」
FAX 03-5219-9705

個人情報(氏名、住所、電話番号)は当社によるプレゼントの発送の目的以外には
利用いたしません。

前回のクイズの回答は「農業希釈」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

○にあてはまる言葉(カタカナ)を埋めてください。

ワーク・ライフ・○○○○



ミカタくん オリジナル
ホット＆
クールジェル



「生理のミカタ」特製ハンドブック



ミカタくん オリジナル
クリアファイル

ミカタくん オリジナル
ボールペン



No. 91/2014年8月

○発行人/バイエル ホールディング株式会社 広報本部 松井繁幸

○編集デスク/松本陽一、小原葉子

○編集委員/増田玲子(BYL)、荻上敬子(BCS)、梅澤千絵(BMS)

○所在地/〒100-8268 東京都千代田区丸の内1-6-5

バイエル ホールディング株式会社 広報本部

○TEL/03-6266-7255

○FAX/03-5219-9705

○URL/http://www.bayer.co.jp

○制作/ウィズワークス株式会社

○創刊/1986年1月

○お願い/転載転写ご希望の際は、必ず発行者までご連絡ください。

日本のバイエル

バイエル ホールディング株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8268

Tel. 03-6266-7010

Bayer Holding Ltd.

1-6-5 Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8268

Tel. 03-6266-7010

バイエル薬品株式会社

大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001

Tel. 06-6133-7000

Bayer Yakuhin, Ltd.

2-4-9 Umeda, Kita-ku, Osaka 530-0001

Tel. 06-6133-7000

日本メドラッド株式会社

大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001

Tel. 06-6133-6250

Nihon Medrad K.K.

2-4-9 Umeda, Kita-ku, Osaka 530-0001

Tel. 06-6133-6250

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262

Tel. 03-6266-7007

Bayer CropScience K.K.

1-6-5 Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8262

Tel. 03-6266-7007

バイエル マテリアルサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8211

Tel. 03-6266-7260

Bayer MaterialScience Ltd.

1-6-5 Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8211

Tel. 03-6266-7260

住化バイエルウレタン株式会社

兵庫県尼崎市久々知3-13-26 〒661-0977

Tel. 06-6497-2300

Sumika Bayer Urethane Co., Ltd.

3-13-26 Kukuchi, Amagasaki, Hyogo 661-0977

Tel. 06-6497-2300

ディーアイシー バイエル ポリマー株式会社

東京都中央区京橋2-8-5 〒104-0031

Tel. 03-3562-1023

DIC Bayer Polymer Ltd.

2-8-5 Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo 104-0031

Tel. 03-3562-1023



この印刷物は、FSC®認証紙を使用し、植物油100%の「大豆油インキ」を使い、ISO14001認証工場において「水なし印刷」で印刷しています。また、省資源化(フィルムレス)に繋がるCTPにより製版しています。

和
Harmony

No. 91
Aug. 2014